

プレスリリース

能登半島地震被災地停電地域に車から電気を ーコンセント付ハイブリッドカーからの電流制限機能付給電装置の支援についてー

株式会社あかりみらい（本社札幌市）では、能登半島地震被災地へ車から電気をとる停電対策装置「安心給電キット」300台を支援物資として石川県に登録申し込みしています。

能登半島地震被災地では、いまだに停電復旧できずに苦しんでいる皆さんが多くいらっしゃいます。2019年北海道胆振東部地震によるブラックアウトを経験した当社では、コンセント付きハイブリッドカーから電気を取ることで、避難生活の不便を改善するための「安心給電キット」を開発し、防災に役立てていただきたく全国の自治体に寄贈しています。

避難所では人工呼吸器や吸痰機、酸素吸入器など医療機器を持って避難する方もおり、自家発電機や車からの給電においても電圧の維持が重要となっています。このためコードリールに電流制限装置と使用電力のインジケーターを付属させた「安心給電キット」を開発しました。新型ハイブリッドカーには1500ワットコンセントが付いていて、避難所の照明や携帯充電、テレビ、パソコン、炊飯なども可能になります。

北海道北見市での厳寒期防災訓練では、車1台から60枚の電気毛布に給電することもできました。避難所の皆様には近くにコンセント付きハイブリッドカーをお持ちの方がいれば、避難所に駐車し電気を取ることで1500ワットまでの電気の復旧が可能です。またコンセントがない車でもシガーライターから市販のコンバーターを経由することで100ワット程度の電気を取ることも可能です。

メディアの皆様は、ぜひこの北海道ブラックアウトでの経験を被災地の方にお伝えして、一刻も早く電気のある生活を取り戻すための情報提供をしてください。

詳しくはあかりみらいホームページの防災『安心給電キット』を検索してください。

ENEX2020 動画 <https://youtu.be/qmtnlxtH3fM>

【お問い合わせ】

防災危機管理アドバイザー／株式会社あかりみらい代表取締役越智携帯まで

TEL 090-6697-5059

エネルギーコンサルタント/防災・危機管理アドバイザー

株式会社 あかりみらい 代表取締役 越智文雄

札幌本社：札幌市北区北11条西2丁目2-17 セントラル札幌北ビル4F

TEL 011-876-0820 TEL 0120-760-814 FAX 011-876-0826

東京本社：東京都中央区日本橋室町1-2-6 日本橋大栄ビル7階

大阪支社：大阪府大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー18階

沖縄支社：沖縄県那覇市久茂地2丁目19-5

akari@akarimirai.com

<http://www.akarimirai.com/>



非常用電源に自家用車

専門家に注意点を聞く

電力容量 車種で違い

昨年の夏の北海道東部地震で、道庁金沢が停電した「ブラックアウト」を受け、自動車も非常時の「電源」として注目される停電対策が注目を受けている。道庁の自治体では、大容量のバッテリーを備えるハイブリッド車（HV）を公用車に導入したり、災害時にHVや電気自動車（EV）を提供することも災害警備隊が自動車メーカーと協働し、車種に合わせた役割を担った。家庭でも自動車用電源として活用できる可能性がある。事前準備が重要で、車種や容量も選ぶ必要がある。停電対策を専門にコンサレチアング全社「おひさし」(札幌市北区)の取締役社長(仮)に聞いた。(札幌市) (三嶋佳)

「早年の頃の全道の大規模なブラックアウト(停電)が、自動車や非常用電源の活用が注目された。ハイブリッド車や電気自動車は、大容量のバッテリーを備えている。災害時にHVや電気自動車(EV)を提供することも災害警備隊が自動車メーカーと協働し、車種に合わせた役割を担った。家庭でも自動車用電源として活用できる可能性がある。事前準備が重要で、車種や容量も選ぶ必要がある。停電対策を専門にコンサレチアング全社「おひさし」(札幌市北区)の取締役社長(仮)に聞いた。(札幌市) (三嶋佳)」

「停電対策を専門にコンサレチアング全社「おひさし」(札幌市北区)の取締役社長(仮)に聞いた。(札幌市) (三嶋佳)」

最新のハイブリッド車から引いた電源で家電を動かす超智文社長。電気ストーブも使用できる

長く長い延長コード準備／家電の消費電力確認を

家電の消費電力の目安			
液晶テレビ	300~500W程度	炊飯ジャー	700~1300W程度
パソコン	50~300W程度	電気ストーブ	300~1000W程度
スマートフォンの充電	5~10W程度	ファンヒーター	100~400W程度
冷蔵庫	100~300W程度	扇風機	10~50W程度
電気ポット	1000~1400W程度	電気スタンド	5~10W程度

※あくまで目安の電力なので、持っている製品の消費電力を確認した上で使用してください
 ※起動時ににより多くの電力を使う製品もあるので注意が必要ですよ



「車種で電力容量が異なる。ハイブリッド車や電気自動車は、大容量のバッテリーを備えている。災害時にHVや電気自動車(EV)を提供することも災害警備隊が自動車メーカーと協働し、車種に合わせた役割を担った。家庭でも自動車用電源として活用できる可能性がある。事前準備が重要で、車種や容量も選ぶ必要がある。停電対策を専門にコンサレチアング全社「おひさし」(札幌市北区)の取締役社長(仮)に聞いた。(札幌市) (三嶋佳)」

「車種で電力容量が異なる。ハイブリッド車や電気自動車は、大容量のバッテリーを備えている。災害時にHVや電気自動車(EV)を提供することも災害警備隊が自動車メーカーと協働し、車種に合わせた役割を担った。家庭でも自動車用電源として活用できる可能性がある。事前準備が重要で、車種や容量も選ぶ必要がある。停電対策を専門にコンサレチアング全社「おひさし」(札幌市北区)の取締役社長(仮)に聞いた。(札幌市) (三嶋佳)」



胆振東部地震では、携帯電話を充電できない人が充電コーナーにあふれた＝2018年9月6日、札幌市役所

「おひさし」は毎月第4土曜日に掲載します。次回は10月26日です。ご意見、ご希望はメールで。bousai@hokkaido-np.co.jp

くらしと防災

